

# 意見交換の論点（例）



しおまち海道  
SHIOMACHI KAIDO  
FUKUYAMA CYCLING ROAD

資料 4

○どのような走行環境が考えられるか。

例：一般の観光客が気軽に利用できるルート、自転車愛好家にとって走りごたえのあるルート、サイクリストや地域の方々に  
にとって安心・安全な路面標示などが整ったルート など

○どのような受入環境が考えられるか。

例：サイクリストが休憩、食事、宿泊ができる場所、自転車が故障したときに対応できる環境（修理場所、代替移動手段）、  
インバウンドを誘致する環境（多言語に対応した看板や宿泊所、外国観光客を惹きつけるコンテンツ）、見どころ寄りど  
ころを案内するツアーガイド

○どのような機運醸成、情報発信の取組が考えられるか。

例：初心者の方でも気軽に参加できるサイクリイベント、多言語化されたホームページ・SNS・サイクリングマップ、  
アンケート調査 など

○観光振興や地域活性化など それぞれの事業者の視点で、サイクリングロードの振興により、具体的に  
どのようなことが期待されるか。